



平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月12日

上場会社名 コーナン商事株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7516 URL <http://www.hc-kohnan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 耕造

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 総合企画担当 (氏名) 品川 良一

TEL 072-274-1621

四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	69,819	△5.5	4,691	19.5	3,519	31.2	1,976	—
22年2月期第1四半期	73,852	—	3,925	—	2,682	—	△581	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	63.92	63.73
22年2月期第1四半期	△18.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	227,515	59,479	26.1	1,924.16
22年2月期	221,946	57,310	25.8	1,853.97

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 59,479百万円 22年2月期 57,310百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	9.00	—	9.00	18.00
23年2月期	—				
23年2月期(予想)		11.00	—	11.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	142,500	△2.8	8,550	6.6	6,350	11.2	2,780	201.5	89.93
通期	282,600	0.2	14,400	4.5	10,700	18.6	4,900	123.8	158.51

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	30,991,240株	22年2月期	30,991,240株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	79,298株	22年2月期	79,160株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	23年2月期第1四半期	30,912,042株	22年2月期第1四半期	30,912,197株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後発生する様々な要因により異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

ホームセンター業界では、本格的な景気回復の兆しがなかなか見えてこない中で、国内消費も伸び悩んでおり、経営環境は依然厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当第1四半期にホームセンター3店舗（京都府、広島県、香川県）を出店し、5月末現在の店舗数は227店舗（うち、ホームストックは53店舗）となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は69,819百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。商品部門別では、作業用品やペット及び関連用品が比較的高い伸びとなった反面、インテリア、収納用品及び薬品関連等は伸び悩みました。

売上高は減少しましたが、売上総利益率が33.7%と前年同四半期比2.5ポイント向上したことにより、売上総利益は23,502百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。営業収入は3,161百万円（前年同四半期比7.0%増）、販売費及び一般管理費は21,972百万円（前年同四半期比0.6%減）となり、営業利益は4,691百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

経常利益は、為替差損が減少したことにより3,519百万円（前年同四半期比31.2%増）となり、また、四半期純利益は、たな卸資産評価損がなくなったことにより1,976百万円（前年同四半期は四半期純損失581百万円）といずれも大幅増益になりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（財政状態の変動状況）

当第1四半期末の総資産は前期末より5,569百万円増加し、227,515百万円となりました。売掛金が1,018百万円、商品及び製品が1,785百万円、有形固定資産が2,267百万円増加したことなどによります。

当第1四半期末の純資産は59,479百万円で、自己資本比率は前期末より0.3ポイント向上し、26.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ346百万円減少し、4,701百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が3,518百万円となった他、仕入債務の増加額4,655百万円などの収入がありましたが、売上債権の増加額1,018百万円及びたな卸資産の増加額1,861百万円などの支出により、5,443百万円の収入（前年同四半期比6.8%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出1,697百万円及び差入保証金の差入による支出388百万円などにより、2,129百万円の支出（前年同四半期比14.3%減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入2,500百万円、セール・アンド・割賦バックによる収入3,218百万円及び借入金の純増加額が1,079百万円となりましたが、社債の償還による支出10,000百万円により、3,660百万円の支出（前年同四半期比115.8%増）となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の第2四半期累計期間の業績予想は、当第1四半期の業績等を踏まえて、平成22年4月12日付で公表しました業績予想を修正しております。

今回修正後の第2四半期累計期間の業績は、売上高142,500百万円（前年同四半期比2.8%減）、営業利益8,550百万円（同6.6%増）、経常利益6,350百万円（同11.2%増）、四半期純利益2,780百万円（同201.5%増）と見込んでおります。

売上高については、当第1四半期の実績を踏まえて下方修正しておりますが、営業利益、経常利益及び四半期純利益については、経費削減等の対策により、前回公表した業績予想と同額を見込んでおります。

また、通期の業績予想については、平成22年4月12日付の公表数値より変更ありません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価は実地棚卸を省略し、帳簿棚卸により算定しております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,720	5,067
売掛金	3,753	2,735
商品及び製品	53,938	52,152
原材料及び貯蔵品	420	344
繰延税金資産	1,691	1,869
その他	6,256	5,422
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	70,773	67,585
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	61,078	58,883
土地	28,807	28,808
建設仮勘定	329	1,449
その他（純額）	13,525	12,332
有形固定資産合計	103,740	101,473
無形固定資産	5,013	5,052
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502	1,480
差入保証金	42,947	42,869
その他	3,593	3,552
貸倒引当金	△55	△67
投資その他の資産合計	47,988	47,835
固定資産合計	156,741	154,361
資産合計	227,515	221,946
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,962	22,306
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	28,896	28,882
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	1,682	798
賞与引当金	1,755	1,159
役員賞与引当金	34	38
店舗閉鎖損失引当金	54	54
為替予約	1,280	2,055
その他	8,901	7,736
流動負債合計	69,567	74,031

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
固定負債		
社債	6,000	3,500
長期借入金	66,387	64,322
繰延税金負債	777	685
受入保証金	15,018	15,146
その他	10,284	6,950
固定負債合計	98,468	90,604
負債合計	168,035	164,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,909	15,909
資本剰余金	16,167	16,167
利益剰余金	28,257	26,559
自己株式	△113	△113
株主資本合計	60,221	58,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18	5
繰延ヘッジ損益	△759	△1,219
評価・換算差額等合計	△741	△1,213
純資産合計	59,479	57,310
負債純資産合計	227,515	221,946

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	73,852	69,819
売上原価	50,779	46,316
売上総利益	23,072	23,502
営業収入	2,955	3,161
販売費及び一般管理費	22,102	21,972
営業利益	3,925	4,691
営業外収益		
受取利息	43	39
受取事務手数料	—	18
その他	7	26
営業外収益合計	50	84
営業外費用		
支払利息	583	686
為替差損	621	397
その他	88	173
営業外費用合計	1,293	1,256
経常利益	2,682	3,519
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
受入保証金解約益	42	6
特別利益合計	47	6
特別損失		
固定資産除却損	19	4
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	1,029	—
たな卸資産評価損	2,435	—
特別損失合計	3,483	7
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△753	3,518
法人税、住民税及び事業税	51	1,595
法人税等調整額	△223	△53
法人税等合計	△171	1,542
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△581	1,976

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△753	3,518
減価償却費	1,267	1,344
のれん償却額	41	41
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△762	—
固定資産除却損	19	4
減損損失	1,029	—
受取利息及び受取配当金	△43	△39
支払利息	583	686
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,193	△1,018
たな卸資産の増減額 (△は増加)	557	△1,861
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,004	4,655
その他	△405	△564
小計	7,345	6,766
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	△555	△758
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,696	△568
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,097	5,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,518	△1,697
差入保証金の差入による支出	△692	△388
差入保証金の回収による収入	355	345
預り保証金の受入による収入	2	7
預り保証金の返還による支出	△162	△151
その他	△469	△244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,484	△2,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	24,000	—
短期借入金の返済による支出	△29,500	△1,000
長期借入れによる収入	12,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△7,905	△7,920
リース債務の返済による支出	—	△43
セール・アンド・割賦バックによる収入	—	3,218
割賦債務の返済による支出	—	△175
社債の発行による収入	—	2,500
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△291	△239
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,696	△3,660
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	915	△346

(単位：百万円)

前第1四半期累計期間
(自 平成21年3月1日
至 平成21年5月31日)

当第1四半期累計期間
(自 平成22年3月1日
至 平成22年5月31日)

現金及び現金同等物の期首残高	4,700	5,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,616	4,701

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)
ホームインプローブメント (DIY用品)	25,188	96.4
ハウスキーピング(家庭用品)	29,486	92.6
カー・レジャー (カー・レジャー用品)	13,979	94.6
その他	1,164	106.8
合計	69,819	94.5

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

(1) ホームインプローブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)

(2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)

(3) カー・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)

(4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。